



士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24 RI第 2500 地区

Vol. 04 No. 2821

2023-2024年度国際ロータリーのテーマ

2023-2024年度R I 会長 ゴードンR.マッキナリー

2023-2024年度R I 第2500地区テーマ

ガバナー鶴見誠一郎

今こそ変わる勇気を！さあ、一歩前へ

2023-2024年度士別ロータリースローガン

【勇気ある行動で友情と奉仕の実践へ】

～ Let's begin ～



世界に希望を生み出そう

- 会 長／菊地 昭通
- 副会長／山下 卓己
- 幹 事／福島 和秀
- 例会場／士別グランドホテル
- 例会日／毎週月曜日 12:10～13:00

2500地区ホームページ <http://rid2500.jp/>

士別RC <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>

RI ホームページ <https://www.rotary.org>

第2909回例会 2023年 7月 31日

今日のプログラム

・夜間例会

前回（7月24日）の記録 ・普通例会

司 会 志村孝幸 会場監督
 斉 唱 奉仕の理想
 本日の出席 会員 44人中 出席者 36人 出席率 86.36%
 本日の欠席 榎本実男・田中道也・深尾幸夫・藤吉敏博・前田孝幸・水田孝志・北村浩史
 メークアップ 菊池昭通・近藤峯世・志村孝幸・細川博司・谷温恵・神田裕教・福島和秀
 ビジター 山本政史・菊池仁・片庭隆暁
 ゲスト 生方輝機様

ニコニコBOX 谷村一文（士別翔雲高校野球部ベスト4進出祝い）（`▽`）
 佐藤元保（士別神社例大祭終了御礼）

累計 75.000 円

例会予定

■ 7月例会日[母子の健康月間]

- 7月 3日(月) 普通例会・理事会
- 7月10日(月) 普通例会
- 7月17日(月) 休会：海の日
- 7月24日(月) 普通例会
- 7月31日(月) 夜間例会

■ 8月例会日[会員増強・新クラブ結成推進月間]

- 8月 7日(月) 夜間例会・ガバナー公式訪問
- 8月14日(月) 早朝例会
- 8月21日(月) 普通例会
- 8月28日(月) 普通例会

■会務報告……………菊地 昭通会長

先日のハーフマラソンのお手伝いに参加された皆様、大変お疲れさまでした。本日の会務報告は、時間の都合上、次回例会に報告させていただきます。

■幹事報告……………福島 和秀 幹事

1. 土別ハーフマラソンにご協力いただきました皆様、大変お疲れさまでした。メイクアップの対象といたしますのでご連絡いたします。
2. 第4回アジア交流ジュニアサッカー土別大会終了のお礼が届いております。閲覧ファイルに閉じておきますのでご確認ください。
3. 10月8日の地区大会参加申し込みにご協力いただきまして、ありがとうございます。現在18名の参加となっております。参加を希望されました方は、登録料15,000円を井口会計に8月10日までに収めていただきますようお願いいたします。なお、都合が悪く出席が出来なくなりました方は、8月10日まで変更が可能ですので私 福島までご連絡ください。
4. 来月の8月7日のガバナー公式訪問において集合時間が、いつもと違いますのでご確認のほどよろしくお願いいたします。ガバナー意見交換会参加者は委員長並びに理事役員、直接意見交換したい会員の方は16:45集合、夜間例会参加は17:40集合となっておりますので、よろしくお願いいたします。
5. 8月7日に12:00よりグランドホテルで理事会を開催しますので理事役員の皆様は出席いただきますよう、よろしくお願いいたします。



(土別ハーフマラソンボランティアに参加)

■新入会員入会式……………鈴木 春樹会員



■サフォークランド土別サッカークラブ助成金贈呈



(吉川実行委員長様へ贈呈)

■卓話……………生方 輝喜 様



獺友会の活動部分の流れの中で令和3年度支部別会員数の資料をご覧ください。北海道には71の支部がございます、土別支部は、和寒、剣淵、幌加内、土別の一市三町で構成しております。土別支部は59名でございます。純粋に土別支部の会員が今38名でございます。別表1のエゾシカ捕獲数令和4年度をご覧ください、平成28年度からの数字で、だいたい1000～1200頭捕獲しています、毎年約1000頭捕獲して被害が減らない、結局母体になる頭数が5000頭いるのか2万頭いるのかははっきりしてない、クマも同様で推定

で北海道で14000頭と言われてますが、実態数はわかっておりません。

別表の3ヒグマ捕獲等数をご覧ください、平成30年度から大体30頭ぐらい捕獲をしております箱罠で4～5頭です。

士別市で12台保有しており、フンを見ついたり、クマ穴を見ついたり、といった情報については地域住民の方々の協力もいただき箱罠の設置をし捕獲をしています。

箱罠で捕獲するのは大体5頭前後です。

箱罠で捕獲をすることは非常に難しいところがあります。

ヒグマは基本雑食ですが、何らかの原因で肉を食べたことのあるクマは、今度は肉を求めます、ところが一生懸命、肉食主義で草とかどんぐり等を食べているクマは、一生懸命、肉を食べないで終わるクマもおります、ですから肉の味を覚えたクマについては捕獲が結構可能なんです。

私どもの箱罠の餌については、鹿の肉を使っています、北海道全体で大半のところは鹿肉を使っています。

今年度に入って2頭捕獲しましたが、クマも利口で一度失敗をするとそハンターの顔とその状況も覚えているので僕の顔を見ると逃げるんですね。逃げるクマはいいんですが、恨みを持って襲うクマもいるので、なかなか銃が手放せません、

会員の中では、仲間同士で基本的にクマを見つけた時には複数で捕獲する事になってはおりますがパトロールがそれぞれの時間帯で行いますので複数人で入って行くこと自体が薄くなります。

大半、7～8割が一人で回ります、クマばかりではなくて、パトロールしながら駆除するという事が自分の時間帯で物事を動かしてしまいます。

アライグマの対策も、10年ぐらい前まで朝日町で14頭、それが昨年度で280頭までになり非常に増えていきます。

アライグマは非常に凶暴です、万が一その場面に遭遇した場合は通報ください。

別表5をご覧ください、農作物等被害額調査で令和3年度と4年度の比較ですが、エゾシカの被害額が4年度で91,238,000円です。

ヒグマの被害額が約5000万アライグマの被害額が1300万、その他で2500万です。

万が一ヒグマに出会ってしまった場合一番まずいのが親子クマです。

決して近づかない事が大事です。

3月いっぱいまで冬眠をあけて腹をすかして出てきます。巣穴の中で出産をしある程度まで育てます。

子供を連れた母グマはすごく敏感で嗅覚がそれぞれ数キロ先までわかると言われてしています。

子連れの母グマは非常に危険です。

我々も子連れグマを見つけた時には本当に様子を伺いながらかかっていると、なかなか難しい。

8月9月になると、ここから冬眠準備に一部入りますから、とにかく食歩きます、

ですから、特に4～5月あたりと9～10月は気を付けてください。

11月末ぐらいになるとクマ穴に戻って、または新しい穴を見つけて冬眠に入ります。

ただし今まで100%冬眠すると言われてましたが、この20年ぐらいはシカがエサというクマもおり全部ではありません、なぜ冬眠するかというと、エサがないから冬眠する、逆に言うとエサがあると冬眠しないでいいんです朝日、上士別を中心に毎年同じ個体かどうか分かりませんが大体、2,3頭は冬眠しないクマがいます、そういうクマがひょっとしたら今後もっと増えてくるかもしれません。

最後に猟友会のハンターになかなか成り手がいません。

是非私どもの仲間に入っていただければと思います。士別市から6万円出ますのでぜひ狩猟免許も取っていただいて具体的な社会貢献も狩猟という形で有害駆除をすることも一つの動きだと思っておりますのでぜひその辺もお考えをいただき私どもの仲間に入っていただければ非常にありがたく思います。

北海道猟友会士別支部としてご理解をいただいた上で、色々な部分でまた皆さん方にご協力、ご支援いただければ非常にありがたいと思っております。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。